

## 「出題の意図」

選抜区分	令和2年度（選抜区分：一般選抜前期日程） 文学部 人間関係学科（科目名：小論文）
出題の意図 （評価のポイント）	<p><b>1. 出題の背景・求める能力</b></p> <p><b>【出題の背景】</b></p> <p>今回の小論文は、ユニセフ『世界子供白書 2017 デジタル世界の子どもたち』からの抜粋をもとに日本文と英文を使用し問題作成を行った。</p> <p>スマホやインターネットなどのICTの普及が子どもにもたらす影響について、世界の子ども、子ども期とデジタル化などの状況を読み、自分の身近なデジタル化の状況とあわせて考えることが必要になっている。</p> <p><b>【求める能力】</b></p> <p>設問は、3つあり、問1と問2は、日本語部分の意味について英文読解を含めて理解し、趣旨を理解して具体的に説明することができるかを問うものがある。英文、日本文を含めて内容を読み取り、その内容を具体的に表現する力を求めた。</p> <p>問3は、主題文のキーワードを使用しながら、急速な通信技術の普及のなかで世界の子どもたちという視点で、自らの考えを説明することができるかを問うものである。文章の内容を読み取った上で、キーワードを用いながら、それを参考に自分の考えを論理的に説明することができる力を求めた。</p> <p><b>2. 解説(解法)</b></p> <p>問1：ICTがもたらす子どもたちへのリスクについて、2ページ2行目以降を参考に説明することを求めている。文中で示されたネットいじめやプライバシーの問題、ネット依存や画面中毒、ネガティブなコンテンツの発信などの課題を把握し、論理的に説明できている回答を評価する。</p> <p>問2：ICTの普及やその政策決定において課題となるギャップ（格差、ズレ）について、3ページ1行目以降を踏まえて具体的に説明することを求めている。ICTへのアクセスとその質に関するギャップ、子どもたちのネット生活に関する我々の認識のギャップ、ネット上のリスクに関する認識のギャップへの指摘を読み取り、論理的に説明できている解答を評価する。</p> <p>問3：この問題では、提示されている3つのキーワードを用いて自分の考えを論述することを求めている。これらのキーワードは、文章の中で取り上げられているので、キーワードを軸に文章の内容を良く理解して、小論文のなかに論理的に取り込むことが必要である。</p> <p>文章がどの程度正しく理解され、小論文のなかで論理的に扱われている</p>

るか、また、自分の考えがしっかりした根拠をもとに主張できているかが評価のポイントである。

さらに、他者に分かりやすく説得力のある文章であるか、誤字脱字はないかという点も評価の対象になる。